屋根を葺くってなに？

日本では「葺く」とは金属板・瓦・茅などの屋根材で屋根を張る事をいいます。

○昔の家は「草（茅）」だった！

昔の日本の家は草（茅）を幾つも積み重ねて屋根を作っていました。

この草を編み込んで一面を覆う作業を「葺く」と呼んでいます。

※茅はススキやヨシなど屋根を葺くための丈の高い草の総称になります。

○言葉だけは今も残っているので

現代においては茅（草）から瓦や金属の屋根に変わりましたが、今でも屋根を仕上げる事を「葺く」といいます。

昔は草で守っていた家を、いま現代の最新技術（金属）を使って守っているのが「建築板金（金属屋根葺き）」の職人になります。

